

2023年2月22日

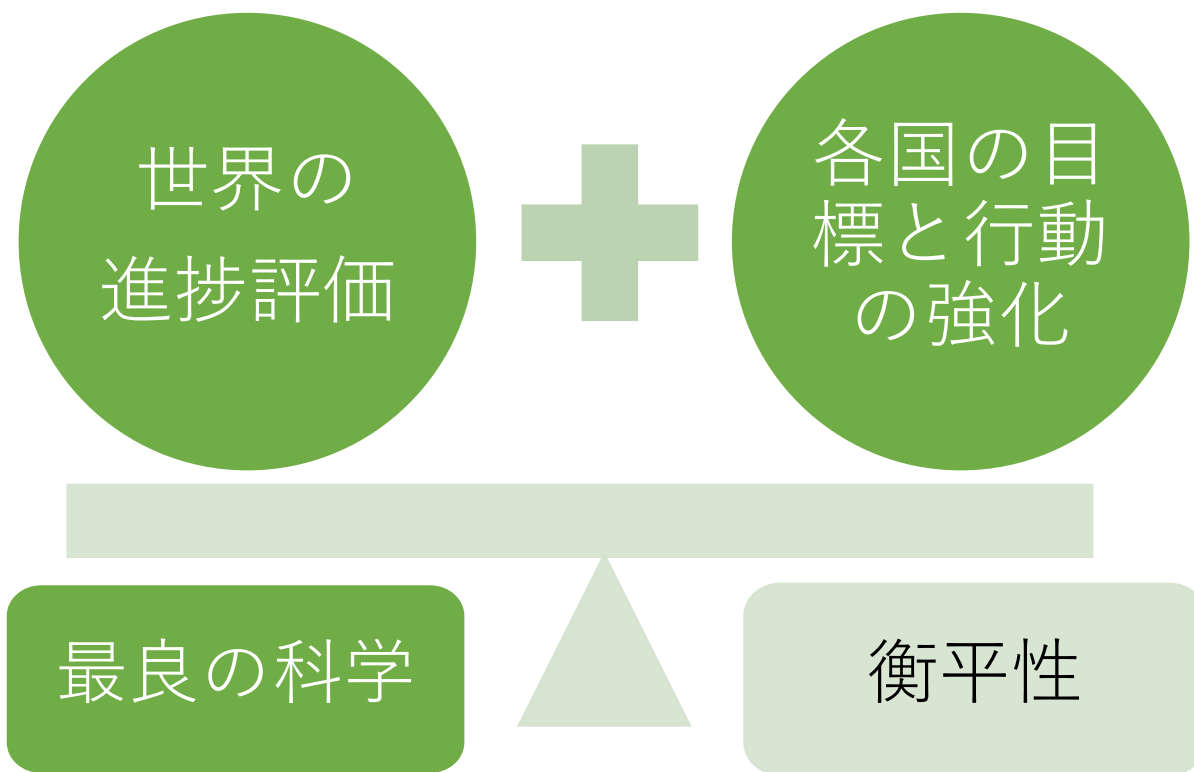
観測とシミュレーションで読み解く「温室効果ガス収支」
ー"最良の科学"に向けてー

話題提供：
“最良の科学”による、
パリ協定・グローバル・ストックテイク
への貢献とは？

気候変動とエネルギー/生物多様性と森林領域 主任研究員
梅宮 知佐

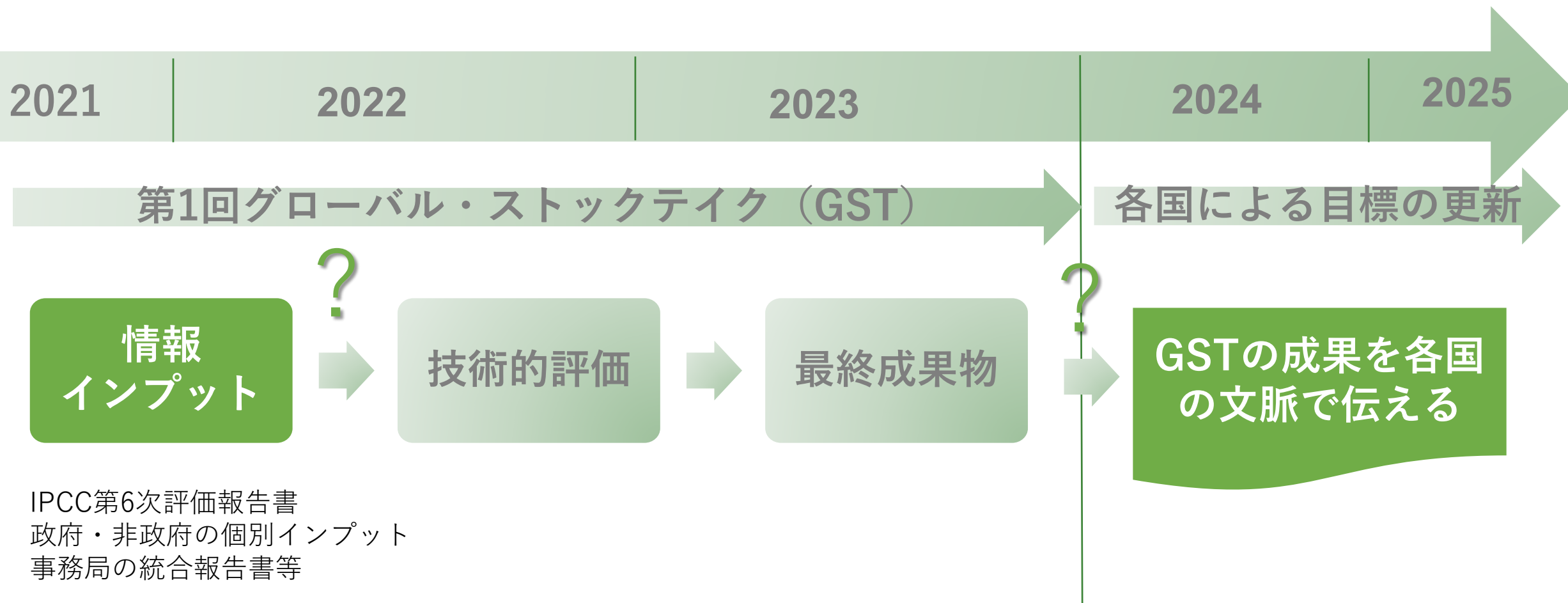


グローバル・ストックテイク（GST）とは、
5年に一度、パリ協定の長期目標に対する世界の進捗を評価する仕組み



挑戦：パリ協定では、各国が自主的に目標と行動を決める。GSTも特定の国・地域に対して、目標と行動の強化を要求できない。これをどう乗り越えるか？

“最良の科学”の出番は、少なくとも2回ある



“最良の科学”の力を借りて「GSTの成果を各国の文脈で伝える」イメージ

この差の要因は何か？

【GSTの成果¹⁾】

森林等のセクターの温室効果ガス排出量の推計：世界モデルの結果と各国が国連に提出するインベントリの合計値との間で大きな差がある。

この差を縮めることは実現可能か？

モデルとインベントリでは、どちらがより信頼できるのか？

インベントリが整備されていない国は、モデル結果に頼れるか？

ネットゼロの社会とは、インベントリを基に評価される？

* インベントリとは、各国が定期的に国連に提出するその国の一年間の総排出・吸収量のこと。

まとめ

- 第1回グローバル・ストックテイク（GST）も終盤を迎え、その成果は2023年11月のCOP28の目玉となる。
- “最良の科学”に基づくGSTは、幅広い情報のインプットを受け入れているものの、成果取りまとめまでのプロセスはより透明性を向上すべきである。
- COP28でまとまるGSTの成果は、各国の文脈できちんとその意味が理解されなければならない。科学者には、この成果の伝達にも大きな役割があると考える。

ご清聴ありがとうございました。

グローバル・ストックテイク（GST）に関する最新情報は、[IGESウェブサイト](#)まで！

The screenshot shows the IGES website homepage. At the top left is the IGES logo and name: 公益財団法人 地球環境戦略研究機関. To the right are navigation links: ホーム | IGESについて | ニュース | 出版物 | イベント | プロジェクト, followed by a search bar and 'English'. Below this is a dark navigation bar with links: 気候変動 | 生態系 | ガバナンス | グリーンエコノミー | 持続可能な消費と生産 | 持続可能な社会 | SDGs. The main banner features an aerial view of a river and forest with the text 'IGES Activity On Global Stocktake'. Below the banner are social media icons for email, Facebook, Twitter, and LinkedIn. At the bottom are six blue buttons with white text: 新着情報, GSTを学ぶ, 国際会議とGST, 研究者の視点, 関連文献, and 関連プロジェクト.

IGES Institute for Global Environmental Strategies
公益財団法人 地球環境戦略研究機関